



園だより

「心躍る 6 月に感謝♥」

令和 8 年 6 月 4 日
宮内認定こども園

園長 宇津木 純子

初夏を感じるような陽ざしに、汗ばむ時もありますが、吹く風は爽やかで過ごしやすい季節を迎えています。新年度が始まり 2 か月。新入園児も周りの環境や生活に慣れてきて、いろいろなことに興味をむけて、遊ぶ姿や、まわりの友だちや保育者と一緒にやかにかかわる姿がたくさん見られるようになりました。たくさんの笑顔や愉快的表情に出会い心が和む毎日です。4、5 歳児は先月、親子遠足に出かけて、楽しい経験と思い出を作ることが出来ました。保護者の皆さまのご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

この時期の自然の移り変わりは早く、色とりどりのきれいな花が私たちを楽しませてくれます。また、小さな虫たちとの出会いも多く、ワクワクしながら自然を楽しむことができる素敵な季節です。たくさんの発見や出会いをして、いろいろな気づきを面白がり、たくさん心を動かしながら、楽しい季節を子どもたちと感じ合っていきたいと思います。園舎の周りや畑、ちょっと遠くへの散歩に出かけては、そこでもいろいろな発見や出会いをしてくる子どもたち。いろいろなお土産を持ち帰ってきます。満足そうで得意顔。畑や園舎周りや道ばたで「カラスノエンドウ」を探している 4.5 歳児さん。カラスノエンドウはあかむらさき色の萩に似た花を咲かせ、さやえんどうのようなかわいい実をつける、つる性の雑草です。毎年この季節に子どもたちの人気となりますが、その理由はなぜなのかと興味がわきます。草むらから、捜しだして、小さい実を摘み取り、さやの中から、実をとりだす熱心な子どもいます。食べられるか図鑑で調べ、食べる相談をしていることもあります。水槽のオタマジャクシには足が出てきましたし、年長組の飼育ケースには、立派なキアゲハの幼虫が育っていました。園庭や畑には、アリやミミズ、ダンゴムシにテントウムシ、チョウチョウ、正体不明の幼虫？そろそろカタツムリにも出会えそうですし、身近で、生きている虫たちを通して、子どもたちは、どんな不思議や面白さを感じるのでしょうか。子どもたちの表情や真剣なまなざし、そしてつぶやきから、子どもたちのみずみずしい感性に心をよせて、私たち自身も、「見よ、それは極めて良かった。」という神さまの言葉を味わい、この自然の豊かさやうつくしさに子どもたちと一緒に気づいていきたいと思えます。

6 月聖句

創世記 1 : 31 「見よ、それは極めて良かった。」

関岡 登季弥 先生

緑が目に眩しい季節を迎えています。子どもたちはこども園の生活の中で日々触れるふとした自然(草花、昆虫、畑、山々の景色など)の中に神さまのあたたかいお守りがあることを感じながら毎日を過ごしています。しかし、それは子どもたちがゆっくりとした時間を過ごしているからできる事であって、私たち大人はなかなかそうはいきません。でも本当にそうでしょうか。私たち大人であっても慌ただしい日々の歩みの中で、少し立ち止まって、深呼吸をしてみれば、見えてくるのではないのでしょうか。皆さんのその心をなごますために神さまがつくってくださった美しい自然が必ず目に入ってくるはずです。ですから、そんなひと時を持つ事で、神さまの温かいお守りを感じながら心安らいで日々をお過ごしください。また、その心に生まれた余裕を子どもたちや家族の皆さん、身近な方々とも分かち合ってください。皆で笑顔になっていってください。それこそが、この美しい世界を御造りになった神さまが、皆さまに心から願っていることなのです。



要望・苦情等に関する相談窓口について

当園では、要望苦情等に係る窓口を下記のとおり設置しています。

(1) 受付担当者 船山 久美 (教頭) 鈴木 沙緒里 (主幹保育教諭)

利用時間 8:30~17:30

電話番号 0238-47-3039 FAX 45-2360

※担当者が不在の場合は、当園職員までお申し出ください

利用時間外 080-3190-3039 (こども園携帯)

(2) 苦情解決責任者 宇津木 純子 (園長)

(3) 第三者委員 板垣 俊一 (南陽市宮内)

阿部 享子 (南陽市宮内)

高橋 和也 (保護者会長)

連絡先は園玄関に掲示

受付時間 9:00~17:00